

第3回 放射23号線沿道地区 街づくり懇談会の記録

1 放射23号線についての意見

道路全般

- ・ 放射23号線を整備するメリットはあるのか。
- ・ 京王線の踏切がなくなれば放射23号線は必要ないのではないかと。和田堀給水所の北側の道路が拡幅されるので、現在の井の頭通りで十分だ。
- ・ 放射23号線は地元住民のメリットが少ない道路だ。地元住民の動線（歩く人・自動車を運転する人）が全く考えられていない。
- ・ 騒音や排気ガスの問題に対処してほしい。
- ・ 放射23号線内において工事車両など大型車の駐車が心配。環境が悪くなる。
- ・ 交通が集中して渋滞が発生するのではないかと。
- ・ 早く事業を進めてほしい。
- ・ 生活しやすい道路にしてほしい。

道路設計

- ・ 放射23号線は4種2級の道路であり、道路構造令によると時速20kmから60kmだが、緩和曲線のないカーブがある場合は時速40kmが限度となっている。時速40kmが限度ということは、それだけ危険なカーブだということだ。
- ・ 放射23号線に停車帯はない方がよい。
- ・ 放射23号線に駐車車両があると自転車が通れなくなるのではないかと。
- ・ 自転車道は相互通行がよい。
- ・ 中央分離帯により分断されるのは不便になるというレベルの話ではなく、生活が困難になるというレベルの話だ。
- ・ 中央分離帯があると右折できないので、なくしてほしい。
- ・ 羽根木から渋谷へ行くために、中央分離帯の一部を開けてほしい。
- ・ 放射23号線を渡れなくなるのは困る。
- ・ 羽根木の人たちはどのように放射23号線の北側へ行くことになるのか。
- ・ 放射23号線内でUターンできる場所がほしい。
- ・ 放射23号線の松原1丁目のあたりで引き返せないと困る。
- ・ 大原2-31遊び場付近をロータリーにして、全方向に行けるようにするのはどうか。
- ・ 放射23号線を和田堀給水所の下を通るように地下化すればよい。
- ・ 放射23号線を渡るために、横断する歩道を地下に設けてはどうか。
- ・ 幅の広い道路なので、分離帯のところで渡るのを2回に分けてほしい。
- ・ 放射23号線を車椅子の人でも渡れるようにしてほしい。
- ・ 既存の道路とのつながりがどうなるのか心配だ。

交差点・信号・横断歩道

- ・ 横断歩道がほしい。
- ・ 信号機はどこに設置されるのか知りたい。
- ・ 現状と同程度の横断歩道の機能がほしい。
- ・ 横断箇所を4箇所ほどほしい。
- ・ 和田堀給水所の東側の信号交差点は絶対必要だ。(図)
- ・ 羽根木神社の東側の通りに信号交差点がほしい。(図) 協議会案
- ・ 和田堀給水所内の西側の一部に南北を貫く道路を通し、そこに信号交差点がほしい。(図)
- ・ 和田堀給水所の西側も通過交通が多いが、ここは通れるようにしなくて良い。通れるようにすると通過交通が増え、通学路が危険になる恐れがある。自動車より通学路の安全が優先だ。(図)
- ・ 放射23号線と京王線、及び和田堀給水所に囲まれた場所が不便になるので、現在通学路に指定されているどちらかに横断歩道がほしい。(図)
- ・ 放射23号線と主要生活道路217号線の交差点処理を検討してほしい。(図)
- ・ 放射23号線と京王線、及び和田堀給水所に囲まれた場所の人たちは、どのように松原小学校や明大前駅に行くことになるのか。わざわざ甲州街道まで迂回することになるのか。京王線の側道のところ、あるいは主要生活道路217号線と交差するところで横断歩道と信号を設けて渡れるようにしてほしい。両方の場所にあればなお良い。(図 ・)
- ・ 京王線の側道と放射23号線が交差する場所に横断歩道を設けてほしい。(図)



横断箇所検討位置図

2 沿道の交通についての意見

自動車

- ・ 松原 1 丁目や羽根木 2 丁目の住宅街を通る自動車（通過交通）が多い。
- ・ 非常に多くの自動車が主要生活道路 2 1 7 号を抜け道として利用しており、甲州街道まで行って新宿方面に向かっている。この通りは事故が多い。
- ・ この辺り一帯の道路は狭い。
- ・ ラッシュ時に踏切が混雑する。
- ・ 主要生活道路 2 1 7 号線が抜け道になっている。
- ・ 羽根木通りのクランクになっている交差点は、南側から来る自動車と環状七号線からくる自動車が交差するため自動車にとっても危険だし、歩行者にとっても危険だ。
- ・ 羽根木では建売り住宅が増えおり、自動車が増えている。
- ・ 羽根木通りは一方通行で自転車も多く使いづらい
- ・ 羽根木は南北の移動はしやすいが、東西の移動がしづらい。
- ・ 狭い道路が多い、デイスサービスの自動車などが停まっていると、横を通るのが難しい。デイスサービスの自動車は増えている。
- ・ この辺り一帯で自動車に対する需要が高まっている。
- ・ 井の頭通りは使いづらい
- ・ 主要生活道路 2 1 7 号線を通る自動車が増えるだろう。
- ・ 抜け道が不要になるだろう。
- ・ 大原交差点が混雑するのではないかと。
- ・ 主要生活道路 2 1 7 号線が放射 2 3 号線により分断される。
- ・ 補助 1 5 4 号線からは甲州街道を右折できないので、松原 1 丁目や羽根木の生活道路に自動車が流入してくるのではないかと。
- ・ 関連する京王線の側道を両側通行にしてほしい。
- ・ この辺り一帯で歩車分離を考えてみてはどうか。
- ・ 自動車を通ると認めた道路は、放射 2 3 号線にアクセスしやすくする。
- ・ 生活道路に自動車を入れたくない。
- ・ 周辺の一方通行を見直し、通過交通の自動車を通る道路と歩行者優先(生活車両のみ)の道路を分けてほしい。

歩行者

- ・ 現在、歩いていて特に問題はない。
- ・ 踏切が狭くて危険だ。
- ・ 羽根木通りと主要生活道路 2 1 7 号線の交差点付近は、自動車のスピードが速く、歩行者、特に子どもにとって危険だ。
- ・ 長い距離の横断歩道は渡れなくて危険である。
- ・ 環状七号線は道路の幅が広く、高齢者等は 1 回で渡りきれない。

- ・ 自転車利用者が多く、笹塚に自転車で買物に行く。
- ・ 通学路はどうなるのか。
- ・ 松原つみき公園への避難路はどうなるのか。
- ・ 和田堀給水所の南側の道路は現在人通りが少ないが、将来抜け道になるのではないかと。そうすると交通量が増えて危険だ。
- ・ 弱者が歩いて渡れるように、幅の広い道路の青信号の時間を十分とってほしい。
- ・ 和田堀給水所の東側の病院に車椅子でも安全に行けるように、道路の東側にも歩道を設けてほしい。（現状は西側のみ歩道がある）

3 その他の意見

- ・ 和田堀給水所の上部はどうなるのか。
- ・ 放射23号線の整備により生まれる和田堀給水所の残地を公園にしてほしい。
- ・ 放射23号線の整備により、松原つみき公園と大原2-31遊び場がなくなるので、代わりの公園がほしい。
- ・ 公園がなくなると、子どもの遊び場がなくなる。
- ・ 和田堀給水所内に公園をつくるべきだ。
- ・ 建物を高くすると見通しが悪くなる。
- ・ 放射23号線の整備により生活が不便になる。地域の分断が起き、孤立する地域もできてしまう。
- ・ 放射23号線の沿道の用途について具体的に知りたい。

4 懇談会についての意見

- ・ 終了時間は厳守した方がよい。
- ・ 時間が足りない位だった。
- ・ 活発な意見交換で良かった。
- ・ グループ内での意見の整理がうまくできていなかった。
- ・ 放射23号線沿道の土地利用についても再度検討してほしい。
- ・ 参加者が毎回異なり議論がしづらいので、計画で決定していることを活かしてほしい。
- ・ 初めての参加だったが、みなさんと共通理解ができた。地域ごとにやるともっと年齢層も広がって、皆が使いやすい道ができると思う。
- ・ 参加者の意識や知識レベルに差があり、とりまとめは大変だと感じた。班ごとの意見交換は、参加者が様々なのであまり有効とは思わない。いずれ意見集約をするのであれば、案を提示してそれについて議論するようにした方が効果的だと思う。
- ・ テーマを絞って検討することも良いと思う。
- ・ 用途が変わる範囲の詳細な図面がほしい。
- ・ 制限を設け、建物の高さをおさえてほしい。

- ・ 放射23号線と生活道路がうまく流れるために、また、生活者が困らないようにするために、という話し合いがほしい。若い人を増やし高齢化を止めるためにも、若い人が住みやすい町になるように建物の高さなども考えたい。守山小も閉校になり、人の流れも変わる地域でもある。

《街づくりアドバイザーからの意見》

寺内先生

意見の中で多かった横断箇所については、自動車の流れや利便性をある程度保ちつつ、通過交通の懸念も含めて、どの位置に横断箇所を設けるのが良いか、客観的な情報も考慮してまた話し合いたい。今後はいくつかテーマを絞り、各テーマについてもっと掘り下げて意見交換をする必要があると思った。

饗庭先生

小学校の通学路だけではなく、福祉施設や保育園、幼稚園、歯医者、病院等へのルートも考慮して意見をまとめるのもひとつの方法である。